



メインセッション テーマ2

The 12th East Asia Local and Regional Government Congress

第12回東アジア地方政府会合 メインセッション テーマ2次第

時間

▶ 2023年10月26日 (10:50-12:00)

会場

▶ 臨沂藍海国際飯店(沂河店)5号棟 2号会議室

テーマ

▶ 現代的なビジネスロジスティクスシステムを構築することにより、
質の高い経済社会の発展を促進する方法

司会者:臨沂大学物流学院院長 李曉東

- 日本国奈良県産業・観光・雇用・振興部部長 森本壮一
- ベトナムトゥアティエン・フエ省工商庁庁長 グエン・タン
- ベトナムベッチ市人民委員会主席 グエン・ゴック・ソン
- 臨沂商城管理委員会副主任 張琦
- 榆林市開発改革委員会財政貿易課課長 吳振民
- 臨沂大学物流学院博士 曹松栄



第12回東アジア地方政府会合 メインセッション テーマ2

2023年10月26日に第12回東アジア地方政府会合メインセッション(テーマ2)が開かれた。

会議では、互いに参考と交流学習のために日本、ベトナムおよび中国榆林市、臨沂市に関わる政府代表、専門家教授たちにより、現代的なビジネスロジスティクスシステムの構築、質の高い経済社会の発展について討議が行われた。

李曉東



現代的な流通システムの重要な構成部分として、ビジネスロジスティクスは内需拡大と消費促進の重要な担い手であり、国内外市場を結ぶ役割を果たしている。臨沂市は「中国物流の都市」と呼ばれており、商業貿易サービス型国家物流の中心地でもある。2013年習近平主席は臨沂市の商業貿易物流を視察したとき「臨沂の物流はよくできている。これから引き続き努力し、時代と共に進化し、絶えず探索し、多元的に発展し、現代物流に邁進しなければならない」と指摘

した。従って、全国に現代的なビジネスロジスティクスの重要な基地を建設することは臨沂市の一つ重要な機能として定められた。我々は現代ビジネスロジスティクスの施設、運営、サービスと政策体系を加速的に構築し、物流事業の拡大と強化を推進しなければならない。

森本壮一



物流は県民の生活と経済活動を支える重要な社会インフラであり、その維持と発展を通じて、地域経済の発展を促進する必要がある。配送網がすべての地域に広がり、生活必需品などを安定して届けることが非常に重要である。県民の生活と経済活動を支えるために、物流基盤となる道路インフラの整備が重要であり、奈良県は京奈和自動車道等の早期整備に取り組んでいる。また、県内の運送業者に対して燃料費の高騰への支援や経営基盤の強化への支援を行っている。

グエン・タン



トゥアティエン・フエ省は物流インフラ発展のための投資誘致の面で多くの潜在力と優位性を持っている。ビジネスインフラシステムと産業インフラは徐々に完備され、市場ネットワークも進化を遂げ、グレードアップし、国内外の多くの企業が現代流通システムを構築することで、観光に特化した歩行者天国、夜市などを作り出している。トゥアティエン・フエ省の物流サービスは現代貿易と物流システムを発展させる重要な産業となり、わが省の社会経済発展に寄与することが期待される。

グエン・ゴック・ソン



近年、地理的、政治的優位のおかげで、ベッチ市の経済は良好な状態と持続可能な成長速度を維持している。文明的、現代的な創意性のある都市を建設するために原動力をつくり出すと同時に建築空間、地球にやさしい景観環境を創造した。そして伝統文化の継承及び発揚とともに、ベッチ市をベトナムの原点に回帰する伝統祭りに特化した都市として建設を進めていく。私は今回の会合が東アジア地域各国政府理解の増進、経済・文化の発展と協力の促進、第12回東アジア地方政府会合の参加メンバー間の友情の増進につながるきっかけとなることを望んでいる。

張琦



商業貿易は物流を生み、物流は商業貿易を繁栄させる。臨沂市は「中国物流の都」という称号を持っており、国内物流路線が全国のすべての県級以上の都市をカバーし、すべての港と港にアクセスでき、価格が全国より20%-30%低く、「ネットワーク完備、効率良く速い、価格が安い」という独特な優位性を形成している。2019年、臨沂市は国家第一陣の商業貿易サービス型国家物流ハブに選ばれた。我々も臨沂物流について、単一道路物流から総合物流への転換、伝統

業態から新業態へのグレードアップ、物流要素の規模化から集約化への発展を促進している。臨沂市はいかに現代商業貿易物流を発展させるのかという課題を突き豊かに模索してきた。現在、臨沂市はすでに国内外商品の中継分配、集散基地となり、取扱商品が豊富な物流で世界につながり、サービスの便利性が良く効率的で、発展の底力が十分にある。

呉振民



現代物流はより深い融合発展が必要である。内陸都市と港、物流と商業貿易、国内と国外、都市と都市間の協力はますます緊密になっている。産業を束ねてはじめてチェーンを伸ばし、パイを大きくすることができる。地方政府間は物流産業を強化させ、経済建設によりよく貢献できるようにするためには、地域協力を強化し、メカニズムを革新し、共同発展する必要がある。榆林市は国内外の地域と都市、特に長期的に連携している東アジア地域との交流を深め、質の高い商業貿易物流システムを共同で構築し、経済発展を促進したいと考えている。商業貿易物流産業に力を入れている有識者が投資商談・ウィンウィンの協力のために榆林市を訪れることを歓迎している。

曹松榮



2019年9月、臨沂商業貿易サービス型国家物流ハブは第1陣の23の国家物流ハブリストに選ばれ、山東順和グループは臨沂商業貿易サービス型国家物流ハブ建設運営主体企業となり、臨沂商業施設を「商、倉、流、園」一体化発展と「デジタルモール、国際モール、グリーンモール、チェーンモール」建設の積極的な実践者であり、現代物流に特化したまちづくりへ積極的に参加している。